

# 静岡市障がい者共生のまちづくり計画 (令和3年度から5年度まで) 障がい者計画(市の事業) 令和3年度の実績報告について

【評価区分】 計画期間中（令和3年度から5年度）の取組状況に基づき、次の区分により、各年度の評価を行う。  
評価基準は、本市が実施する **事務事業総点検表** と同様の基準とする。

評価区分（目安）	内容	評価の視点
S （成果指標の達成度がS）	期待を上回る	・ 目標以上の成果があがっている。
A （成果指標の達成度がA以上）	期待どおり	・ 活動実績に見合った十分な成果が出ている。 ・ 活動実績に見合った十分な成果が出ている。 ・ 成果のさらなる向上又は適正水準の維持が期待できる。
B （成果指標の達成度がB以上）	期待を下回る	・ 目標達成に向けて、ある程度成果は出ているが、目標をやや下回っている。 ・ 活動実績に対する成果がやや低い。 ・ 成果達成のため、事業内容等の改善が必要
C （成果指標の達成度がC）	期待を顕著に下回る	・ 目的達成に向けた成果が出ていない。 ・ 事業実施の効果が認められない。 ・ 実施方法等の抜本的な見直し求められる。 ・ 今後も成果が見込めず、事業そのものの見直しが必要
—	実施せず	・ 実施する必要がなくなった。 ・ 天候不良・政策変更等により実施が不可能となった。

障がい者共生のまちづくり計画掲載事業(市の事業)一覧

No.	施策分野	計画掲載ページ	事業名	担当課
1	1-(1)-1	33	地域における障がいの理解促進事業	障害福祉企画課 精神保健福祉課
2	1-(1)-2	33	市政出前講座の実施に係る地域の障がいのある人の参画	障害福祉企画課
3	1-(1)-3	33	障がいの理解促進に関する普及啓発事業	こころの健康センター
4	1-(1)-4	33	新 高次脳機能障がいの理解促進に関する普及啓発、相談・支援事業	精神保健福祉課 地域リハビリテーション推進センター
5	1-(1)-5	35	学校教育における支え合いの意識づくりの推進事業	福祉総務課
6	1-(1)-6	35	学校におけるボランティア活動の実施	学校教育課 教育センター
7	1-(1)-7	35	こころのバリアフリープロモーター育成講座	こころの健康センター
8	1-(1)-8	36	新 バラバドミントンを通じた共生社会教育推進事業	スポーツ交流課
9	1-(2)-1	41	市民活動センターの運営	市民自治推進課
10	1-(2)-2	41	地域福祉交流プラザの運営	福祉総務課
11	1-(2)-3	41	ボランティア活動を通じた支え合いの意識づくり推進事業	福祉総務課
12	1-(2)-4	41	新 市民ワークショップ「Voice of しずおか市民協議会」を活用した共生都市促進検討事業	障害福祉企画課 市民自治推進課
13	1-(3)-1	42	障害者差別解消法に基づく相談事業	障害福祉企画課 精神保健福祉課
14	1-(3)-2	42	静岡市障害者差別解消支援地域協議会	障害福祉企画課
15	1-(4)-1	49	市民後見人養成研修事業	福祉総務課
16	1-(4)-2	49	日常生活自立支援	福祉総務課
17	2-(1)-1	64	民生委員・児童委員及び主任児童委員による地域福祉活動	福祉総務課
18	2-(1)-2	64	うつ病対策事業	こころの健康センター
19	2-(1)-3	64	障害者相談員設置事業(身体・知的)	障害福祉企画課
20	2-(1)-4	64	精神障害者家族等相談員相談事業	精神保健福祉課
21	2-(1)-5	64	精神保健福祉相談事業	精神保健福祉課
22	2-(1)-6	65	難病患者地域支援対策事業	保健予防課
23	2-(1)-7	66	新 依存症対策事業	こころの健康センター 精神保健福祉課
24	2-(2)-1	71	退院後支援事業	精神保健福祉課
25	2-(2)-2	71	新 精神障がい者地域移行支援事業	精神保健福祉課
26	2-(2)-3	71	難病患者等介護家族リフレッシュ事業	保健予防課
27	2-(2)-4	71	新 再犯防止相談支援事業	福祉総務課
28	2-(3)-1	82	ライフサポート事業	障害者支援推進課
29	2-(3)-2	82	補装具の適切かつ継続的な使用に向けた支援	地域リハビリテーション推進センター
30	2-(3)-3	82	ふれあい収集の実施	収集業務課
31	2-(3)-4	82	新 ヘルプマーク・ヘルプカード普及啓発事業	障害福祉企画課
32	2-(4)-1	85	各種手当の給付	障害者支援推進課
33	2-(4)-2	85	心身障害者扶養共済制度	障害者支援推進課
34	2-(4)-3	85	補装具費助成事業	障害者支援推進課
35	2-(4)-4	85	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	障害者支援推進課
36	2-(4)-5	85	重度障害者紙おむつ支給事業	障害者支援推進課
37	2-(5)-1	89	難病患者等ヘルパー養成事業	保健予防課
38	2-(5)-2	89	移動支援事業従事者養成研修	障害福祉企画課
39	2-(5)-3	89	介護職員初任者研修受講就労助成金	障害者支援推進課(介護保険課)
再	2-(6)-1	91	再 市民後見人養成研修事業	福祉総務課
再	2-(6)-2	91	再 日常生活自立支援	福祉総務課
再	2-(6)-3	91	再 精神障がい者地域移行支援事業	精神保健福祉課
40	3-(1)-1	95	障がい者歯科保健推進事業	健康づくり推進課
41	3-(1)-2	95	新 障がい者歯科保健推進会議の運営	健康づくり推進課
42	3-(1)-3	95	精神科救急医療体制整備事業	精神保健福祉課
43	3-(1)-4	95	難病患者等医療相談事業	保健予防課

No.	施策分野	計画掲載ページ	事業名	担当課
44	3-(2)-1	97	地域リハビリテーションの普及・啓発事業	地域リハビリテーション推進センター
45	3-(2)-2	97	うつ病回復プログラム事業	こころの健康センター
46	3-(2)-3	97	回復期リハビリ病棟の運営	清水病院医事課
47	3-(2)-4	97	リハビリテーションに係る相談支援事業	地域リハビリテーション推進センター
48	3-(3)-1	98	自立支援医療費の支給	障害者支援推進課 保健予防課
49	3-(3)-2	98	重度心身障害者医療費助成事業	障害者支援推進課 精神保健福祉課
50	3-(3)-3	98	精神障害者入院医療助成制度	精神保健福祉課
51	3-(3)-4	98	特定医療費の支給	保健予防課
52	4-(1)-1	103	市営住宅への入居支援	住宅政策課
53	4-(1)-2	103	住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業	住宅政策課
54	4-(1)-3	103	身体障害者住宅相談事業	障害者支援推進課
55	4-(1)-4	103	重度身体障害者住宅改造費補助事業	障害者支援推進課
56	4-(2)-1	108	心身障害者(車いす用)タクシー利用料金助成事業	障害者支援推進課
57	4-(2)-2	108	精神障害者交通費助成事業	精神保健福祉課
58	4-(2)-3	108	新 福祉有償運送の登録支援	福祉総務課
59	4-(3)-1	108	バリアフリーの情報発信	福祉総務課
60	4-(3)-2	108	障がい者に配慮した歩道空間の確保	交通政策課
61	4-(3)-3	109	安全な歩道の整備	道路計画課 道路保全課
62	4-(3)-4	109	鉄道駅周辺のバリアフリー化の推進	道路保全課
63	4-(3)-5	109	都市公園のバリアフリー化整備	公園整備課
64	4-(3)-6	109	バリアフリー法における建築物の整備の促進	建築指導課
65	4-(3)-7	109	超低床ノンステップバスの導入拡大	交通政策課
66	4-(3)-8	110	ユニバーサルデザインの普及	建築総務課
67	4-(3)-9	110	文字情報サインの設置	市街地整備課 清水駅周辺整備課
68	4-(3)-10	110	新 静岡庁舎、区役所のバリアフリー整備事業	管財課 駿河区地域総務課 清水区地域総務課
69	5-(1)-1	112	地域防災訓練の実施	危機管理総室
70	5-(1)-2	112	防災出前講座の開催	危機管理総室
71	5-(1)-3	112	住宅用火災警報器取付支援事業	予防課
72	5-(1)-4	112	重度身体障害者住宅安心システム	障害者支援推進課
73	5-(1)-5	112	木造住宅耐震事業	建築指導課
74	5-(1)-6	113	家具等固定推進事業	建築指導課
75	5-(1)-7	113	障がい福祉施設の消防訓練の指導及び実施	予防課
再	5-(1)-8	113	再 ヘルプマーク・ヘルプカード普及啓発事業	障害福祉企画課
76	5-(1)-9	113	新 市民の防犯意識高揚のための啓発活動	生活安心安全課
77	5-(1)-10	113	新 青色防犯パトロール	生活安心安全課
78	5-(1)-11	113	新 「ながら見守り」活動の実施	生活安心安全課
79	5-(1)-12	113	新 街頭防犯カメラ設置事業補助金	生活安心安全課
80	5-(1)-13	113	新 消費生活相談	生活安心安全課
81	5-(1)-14	113	新 消費生活に係る情報提供	生活安心安全課
82	5-(1)-15	114	新 障害者災害時体制強化事業	障害福祉企画課
83	5-(1)-16	115	新 新型コロナウイルス感染症対策関連事業	障害福祉企画課 障害者支援推進課
84	5-(2)-1	115	避難所における障がいのある人への配慮	危機管理総室
85	5-(2)-2	115	避難行動要支援者避難支援推進事業	福祉総務課
86	5-(2)-3	115	福祉避難所の確保	福祉総務課
87	5-(2)-4	116	聴覚障がいのある人のための緊急情報発信事業	障害福祉企画課
88	5-(2)-5	116	聴覚障がい等、音声による通報が難しい人のための緊急通報受信事業(FAX119・NET119)	指令課

No.	施策分野	計画掲載ページ	事業名	担当課
89	6-(1)-1	125	発達早期支援事業	子ども家庭課 障害福祉企画課
90	6-(1)-2	125	児童相談所の運営	児童相談所
91	6-(1)-3	125	障がい児保育事業	こども園課
92	6-(1)-4	125	障がい児保育事業	幼保支援課
93	6-(1)-5	127	乳幼児健康審査	子ども家庭課
94	6-(1)-6	127	幼児言語指導事業	学校教育課
95	6-(1)-7	127	放課後児童クラブにおける職員加配	子ども未来課
96	6-(1)-8	127	レスパイト事業補助	障害福祉企画課
97	6-(1)-9	128	母子療育訓練センターの運営	障害福祉企画課
98	6-(1)-10	128	児童発達支援センター「いこいの家」における親子教室の実施	障害福祉企画課
99	6-(2)-1	131	福祉型児童発達支援センター「いこいの家」での医療的ケア児の受入れ	障害福祉企画課
100	6-(2)-2	131	新 市立こども園における医療的ケア児の受入	こども園課
101	6-(2)-3	131	新 私立こども園における医療的ケア児の受入	幼保支援課
102	6-(3)-1	132	障がいのある児童生徒への就学支援	学校教育課
103	6-(3)-2	132	特別支援教育推進事業	学校教育課
104	6-(3)-3	132	特別支援教育研修会の開催	学校教育課
105	6-(3)-4	132	特別支援教育進路指導協議会による進路指導	学校教育課
106	6-(3)-5	133	特別支援教育就学奨励費補助金交付事業	児童生徒支援課
107	6-(3)-6	133	特別支援連携協議会の運営	学校教育課 障害福祉企画課 子ども未来課
108	7-(1)-1	137	就職面接会の開催	商業労政課
109	7-(1)-2	137	新 「就フェス」開催事業	障害福祉企画課
110	7-(1)-3	137	精神・発達障がい者しごとサポート養成講座	商業労政課
111	7-(1)-4	137	障がいのある学生のインターンシップの受入	障害福祉企画課 等
112	7-(1)-5	138	静岡市役所での障がい者雇用	人事課 水道総務課 教育総務課
113	7-(1)-6	138	静岡市職員採用試験制度における障がいのある人への配慮	人事委員会事務局
114	7-(2)-1	142	「農・福連携」の推進	農業政策課 農業委員会事務局 障害福祉企画課 精神保健福祉課
115	7-(2)-2	142	静岡市ワークステーションの設置	障害福祉企画課
116	7-(3)-1	142	障がい者就労施設等からの優先調達の促進	障害福祉企画課
117	7-(3)-2	143	福祉ショップ運営事業費補助	障害福祉企画課
118	7-(3)-3	143	公共施設を活用した自主製品の販売支援	障害福祉企画課
119	7-(3)-4	143	新 工賃向上アドバイザー派遣事業の実施	障害福祉企画課
120	8-(1)-1	150	市民参加型舞台公演事業	まちは劇場推進課
121	8-(1)-2	150	まちは劇場コンサート事業 学校訪問コンサート	文化振興課
122	8-(1)-3	150	全国障害者スポーツ大会への派遣	障害福祉企画課
123	8-(1)-4	150	障がい者スポーツへの理解促進と情報提供の実施	スポーツ振興課
124	8-(1)-5	150	市営スポーツ施設の使用料の減免	スポーツ振興課
125	8-(2)-1	153	生涯学習施設における障がいのある人を対象とした講座の実施	生涯学習推進課
126	8-(2)-2	153	健康づくりに関する講座の開催	健康づくり推進課 各健康支援課
127	8-(2)-3	153	身体障害者福祉センター「静岡市清水みなとふれあいセンター」「静岡市清水みなとふれあいセンター」の運営	障害福祉企画課
128	8-(2)-4	153	新 市立図書館における福祉サービスの実施	中央図書館
129	8-(3)-1	156	ウェブアクセシビリティに配慮した市公式ホームページの提供	広報課
130	8-(3)-2	156	視覚障がいのある人への音訳資料の提供の推進	中央図書館
131	8-(3)-3	156	公職選挙における障がいのある人への配慮	選挙管理委員会事務局
132	—	160	社会福祉施設等施設整備補助	障害福祉企画課

静岡県障がい者共生のまちづくり計画(R3~5) 掲載事業 障害者福祉計画(市の事業) 令和3年度評価 総括表

施策分野 (大分野・小分野)	事業数	うち 新規 事業数	うち 再掲 事業数	評価				
				S	A	B	C	—
1 権利擁護・理解促進	16	3	0	0	12	2	0	2
(1)障がいの理解を深める教育・啓発・広報活動の推進	8	2	0		7			1
(2)ボランティア・NPOによる協働の促進	4	1	0		2	1		1
(3)障がいを理由とする差別の解消	2	0	0		2			
(4)意思疎通・意思決定の支援	2	0	0		1	1		
(5)虐待の防止	0	0	0					
2 生活支援	26	4	3	0	21	5	0	0
(1)相談支援体制の充実	7	1	0		5	2		
(2)地域移行を推進するための支援	4	2	0		4			
(3)日常生活を支援するためのサービスの充実	4	1	0		3	1		
(4)経済的な支援の充実	5	0	0		5			
(5)人材の確保と資質の向上	3	0	0		2	1		
(6)将来の生活を考えるための支援【新設】	3	0	3		2	1		
3 保健・医療	12	1	0	1	11	0	0	0
(1)障がいに配慮した地域医療の提供	4	1	0		4			
(2)リハビリテーション支援の推進	4	0	0	1	3			
(3)医療費助成の実施	4	0	0		4			
4 生活環境	17	2	0	2	12	3	0	0
(1)地域における住居の確保	4	0	0		2	2		
(2)外出支援の充実	3	1	0		3			
(3)まちのユニバーサルデザインの充実	10	1	0	2	7	1		

施策分野 (大分野・小分野)	事業数	うち 新規 事業数	うち 再掲 事業数	評価				
				S	A	B	C	—
5 安全・安心	21	8	1	0	18	2	1	0
(1)防災・防犯意識の向上と備えの推進	16	8	1		13	2	1	
(2)災害時等における支援体制の充実	5	0	0		5			
6 こども	19	2	0	0	18	0	0	1
(1)障がいの早期発見・早期支援	10	0	0		10			
(2)医療的ケアを必要とする障がい児等の支援	3	2	0		2			1
(3)学校教育における障がい児の支援	6	0	0		6			
7 雇用・就労	12	2	0	0	4	5	2	1
(1)就労につなげ、支える支援の充実	6	1	0		2	1	2	1
(2)障がいの状況に応じた就労の場の確保	2	0	0		1	1		
(3)福祉的就労における工賃向上の支援	4	1	0		1	3		
8 文化活動・市民生活	12	1	0	2	7	1	1	1
(1)文化・スポーツ等を通じた社会参加の推進	5	0	0	2	1		1	1
(2)生涯を通じた多様な学習機会の提供	4	1	0		3	1		
(3)行政におけるアクセシビリティの向上	3	0	0		3			
障害福祉サービス等の提供基盤の整備について	1	0	0	0	1	0	0	0
(1)社会福祉施設等施設整備補助	1	0	0		1			
合計	136	23	4	5	104	18	4	5

施策分野1 権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成の計画期間中の取組		事業目標に対する評価		評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)				
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況		R3	R4	R5	総
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額							
1-(1) 障がいの理解を深める活動の促進																					
1	1	障害福祉企画課 精神保健福祉課	地域における障がいの理解促進事業	市政出前講座等の開催増加による普及活動の促進	6回	6回	6回	6回							地区民生委員・児童委員協議会、市内小学校等に対し、出前講座の周知を行います。	市政出前講座の周知を行い、目標回数どおりの開催につながった。	A				
2	2	障害福祉企画課	市政出前講座の実施に係る地域の障がいのある人の参画	市政出前講座等に参加する当事者の増加	【コロナ禍の目標値】 関係団体との検討の実施	0人	2人	2人						開催にあたり、当事者団体等と連携し、出前講座への当事者の参加を依頼します。	新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、当事者の参画を見送ることとした。	-					
3	3	こころの健康センター	障がいの理解促進に関する普及啓発事業	精神障がいの症状・特性を学ぶ研修教室の開催	2回	3回 (摂食障害家族教室3回実施、8050研修は開催中止)	2回	2回			197	14	197	精神障がい・こころの健康等に関する理解を深めるための効果的な普及・啓発方法を検討するとともに、関係機関との連携をより一層促進します。	コロナ禍で集合研修の開催を一部中止したが、代わりにオンラインを活用して普及啓発動画を作成し、普及啓発に取り組んだ。	A					
4	4	精神保健福祉課 地域リハビリテーション推進課	新 高次脳機能障がいの理解促進に関する普及啓発、相談支援事業	支援者向け研修会や情報交換会の開催 ①研修の開催による普及活動の促進 ②高次脳機能障害情報交換会等によるネットワーク活動 ③高次脳機能障害相談会の開催	①1回 ②1回 ③2回	①2回 ②1回 ③2回	①1回 ②1回 ③2回	①1回 ②1回 ③2回			5,456	3,337	5,139	市内関係機関、支援機関や事業所、家族会への周知を行うとともに、関係機関と連携を進めます。	研修会や情報交換会、相談会を開催、チェックシートやリーフレットの配布を行う事で、高次脳機能障害の普及・啓発を行った。また、新型コロナウイルス感染対策を行いながら実施した。	A					
5	5	福祉総務課	学校教育における支え合いの意識づくりの推進事業	静岡市社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金交付要綱に基づき、静岡市社会福祉協議会に適切に補助金を交付する。 学校と地域が連携した福祉に関する事業の実施	適切な補助金の交付 ※市社協の事業目標:教員向け会議等の実施	実施	適切な補助金の交付 ※市社協の事業目標:教員向け会議等の実施	適切な補助金の交付 ※市社協の事業目標:教員向け会議等の実施			17,179	5,902	149,427の一部	市内関係機関、支援機関や事業所、家族会への周知を行うとともに、関係機関と連携を進めます。	市社協と各学校が連携し、学校における福祉教育が推進されるよう、市社協に対し補助金を交付した。補助金を活用して、福祉教育のプログラム実施のための補助教材の発行、福祉教育支援事業、福祉体験事業等が実施された。	A					
6	6	学校教育課 教育センター	学校におけるボランティア活動の実施	アンケートで「人の役に立つ人間になりたい」と回答する子どもの割合 ①小学生 ②中学生 ③高等学校	①95.9% ②94.3% ③84.9%	①95.7% ②94.6% ③85.4%	①95.9% ②94.3% ③84.9%	①96.0% ②94.4% ③85.0%			0	0	0	①教職員を対象に開催する道徳教育担当者会で、ボランティア精神等について研修する機会を年間2回行います。 ②各小中学校・高等学校において、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等で、ボランティア推進の授業を展開します。	各学校の状況に応じて、地域清掃、廃品回収、地域防災、介護施設訪問等の地域交流、各種募金活動等を行い、ボランティア活動を推進してきた。コロナ禍の中だが、校内を中心に、また可能な範囲で地域へ向きボランティア活動を行ってきた。	A					
7	7	こころの健康センター	こころのバリアフリープロモーター育成講座	①講座の実施による精神疾患や障がい理解する機会の提供 ②受講者の理解度	【コロナ禍の目標値】 修了者向け「フォローアップ講座」を月1回オンラインを併用して実施	「フォローアップ講座」を月1回オンラインを併用して実施	①6回 ②アンケートで「理解できた」と答えた方の割合90%	①6回 ②アンケートで「理解できた」と答えた方の割合90%			137	0	138	①各分野の講師を早期に確保し、チラシやホームページにより積極的に講座の周知を行います。 ②講師との打合せを重ね、受講生が理解しやすい内容とします。	コロナ禍において「こころのバリアフリープロモーター育成講座」は開催中止としたが、修了者向けの「フォローアップ講座」を月に1回開催し、精神疾患への理解をさらに深め、バリアフリー活動へのモチベーションを維持することに取り組んだ。	A					
8	8	スポーツ交流課	新 パラバドミントンを通じた共生社会教育推進事業	体験教室の実施校	5校	5校	5校	5校			640	619	640	教育センター等と協力し、市内小中学校に対し、広く周知を図ります。	・市内全小中学校(公立・市立・国立)に周知を図った。 ・目標校数である5校で体験教室を実施した。	A					
1-(2) ボランティア・NPOによる協働の促進																					
9	1	市民自治推進課	市民活動センターの運営	市民活動センター登録団体数	1,084団体	1,143団体	1,100団体	1,100団体 ※令和4年度末に新目標値設定予定			62,436	62,435	61,475	番町及び清水市民活動センターにおいて、研修会・講座の開催、窓口相談の実施、市民活動拠点の提供などを行います。	番町及び清水市民活動センターにおいて、研修会・講座の開催、窓口相談の実施、市民活動拠点の提供などを行った。	A					
10	2	福祉総務課	地域福祉交流プラザの運営	施設利用者数及び事業参加者数合計	10,000人	15,125人	15,000人	17,000人			18,272	18,272	18,272	「地域福祉交流プラザだより」や、ホームページ等を活用した講座の案内や会議室利用方法等の周知を行います。	新型コロナウイルスの影響による講座の中止や会議室の利用自粛等により、前年度と比較して利用者が減少したが、指定管理者の創意工夫を活かしつつ、各種事業が実施されており、利用者増加に向けた運営がなされているため。	B					
11	3	福祉総務課	ボランティア活動を通じた支え合いの意識づくり推進事業	静岡市社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金交付要綱に基づき、静岡市社会福祉協議会に適切に補助金を交付する。 ※市社協の事業目標:福祉啓発事業の参加者に対する満足度アンケート	適切な補助金の交付 ※市社協の事業目標:満足度70%以上	事業報告を確認し、適正に補助金を交付。 ※満足度:90%	適切な補助金の交付 ※市社協の事業目標:満足度70%以上	適切な補助金の交付 ※市社協の事業目標:満足度70%以上			17,179	5,902	149,427の一部	静岡市社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金交付要綱に基づき、静岡市社会福祉協議会に適切に補助金を交付します。 市社協は、ボランティアの普及啓発を目的に、ボランティア団体等と連携し、市民に向けた啓発イベントを開催します。	ボランティアの普及啓発を目的にボランティア団体等と連携し、市民に向けた啓発事業を行う市社協に対し補助金を交付した。	A					
12	4	障害福祉企画課 市民自治推進課	新 市民ワークショップ「Voice of しずおか市民討論会」を活用した共生都市促進検討事業	市民ワークショップの実施	— (R4実施)	—	実施	— (R4実施)			0	0	66,182	「Voice of しずおか市民討論会実行委員会」と連携しながら、共生都市の実現に向けた有用な議論に就き、ワークショップ参加者自身の障がいへの理解が深まるワークショップの方法を検討し、実施します。	—	-					

施策分野1 権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)						目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価			評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況	R3		R4	R5	総				
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額											
1-(3) 障がい者理由とする差別の解消																											
13	1	障害福祉企画課 精神保健福祉課	障害者差別解消法に基づく相談事業	①相談対応及び啓発 ②相談窓口増加	【コロナ禍の目標値】 ①実施 ②検討	①実施 ②検討	①実施 ②実施に向けた準備	①実施 ②実施												①寄せられた相談に対し、適切な対応を行います。民間事業者等への啓発を行うため、出前講座(さ)の周知を行います。また、市職員に対する研修を行います。 ②相談窓口の在り方を検討し、適切な数の窓口を設置します。	①障害福祉企画課及び精神保健福祉課の相談窓口において、10件の相談があり適切に対応した。また、出前講座による周知及び市職員に対する研修を実施した。 ②相談窓口について、令和4年度に1箇所追加することを検討した。	A					
14	2	障害福祉企画課	静岡市障害者差別解消支援地域協議会	障害者差別解消支援地域協議会の設置、運営の在り方を検討し、適正な運営を行う。	【コロナ禍の目標値】 在り方の検討	在り方の検討	R3の検討結果に基づく運営に向けた準備	運営												障害者差別解消支援地域協議会を設置し、運営の在り方を検討します。	施策推進協議会において、在り方の検討を行った。	A					
1-(4) 意思疎通・意思決定の支援																											
15	1	福祉総務課	市民後見人養成研修事業	①市民後見人養成研修の実施又は市民後見人候補者(研修修了者)の延べ人数 ②家庭裁判所から市民後見人として選任された延べ人数	①市民後見人養成研修(実務編)の実施 ②3人	①実施済み ③3人	①市民後見人養成研修(基礎編)の実施 ②6人	①20人 ②8人						21,195の一部	21,010の一部	25,861の一部					・第2期市民後見人養成研修を実施します。 ・市民後見人候補者への活動支援を行います。 ・市民後見人候補者と被後見人のマッチングのための受任調整会議を実施します。	・第2期市民後見人養成研修を実施し、16名が修了した。来年度より第3期市民後見人養成研修を実施する。 ・市民後見人候補者に対し、フォローアップ研修を実施した。 ・モデル的に受任調整会議を行った。来年度より本格実施する。	A				
16	2	福祉総務課	日常生活自立支援	事業契約件数	450件	423件	450件	450件						82,762	82,762	82,762					静岡市日常生活自立支援事業補助金交付要綱に基づき、静岡市社会福祉協議会に適切に補助金を交付します。 市社協は、契約締結審査会の実施、関係機関連絡調整会議の実施、生活支援員の研修を実施します。	認知症高齢者等判断能力が十分でない市民に対し、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、地域での自立した生活が送れるよう支援しその権利を擁護できるよう、市社協に対し補助金を交付した。	B				
1-(5) 虐待の防止																											

施策分野2 生活支援 ～支え合う～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価		評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)									
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			計画掲載内容	令和3年度末の取組状況	R3	R4	R5	総			
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額										
2- (1) 相談支援体制の充実																										
17	1	福祉総務課	民生委員・児童委員及び主任児童委員による地域福祉活動	相談・支援件数 (障がいのある人に関すること)	【コロナ禍の目標値】 1,100件 (令和2年度実績を上回る件数)	1,100件	1,350件					134,506	131,269	133,713						①民生委員・児童委員及び主任児童委員に対する活動負担減の取組の実施 ②委員充足率の向上	法定地区民生委員児童委員協議会(61地区)に対して、年3回に分けて活動負担金を交付し、民生委員児童委員協議会の運営および民生委員・児童委員の活動の補助を行った。また、経験年数や段階に応じた研修を開催することや、マニュアル及びQ&A等を作成することにより、活動の支援を行った。	A				
18	2	こころの健康センター	うつ病対策事業	①週5日実施 ②9月の自殺予防週間における受付時間の拡大	①週5日実施(13時～16時) ②9月自殺予防週間において、5日間午前中3時間の受付時間の拡大	①週5日実施(13時～16時) ②9月自殺予防週間において、5日間相談受付時間を拡大(午前中3時間)	①週5日実施(13時～16時) ②9月自殺予防週間において、5日間午前中3時間の受付時間の拡大					2,679	2,574	2,700						相談員全員が集まる定例会を計画的に開催し、困難ケースの適切な対応方法等について共有するとともに相談員の資質向上を図ります。	定例会を年4回開催し、相談員と所内の職員で対応困難ケースの情報共有を行った。また、対応方法について検討し、相談員の資質向上を図った。	A				
19	3	障害福祉企画課	障害者相談員設置事業(身体・知的)	相談対応率(関係機関への紹介を含む)	100%	100%	100%					2,091	1,815	1,850						障害者相談員研修会の内容を充実させます。	継続して障害者相談員研修会を実施し、相談員へ地域における個別相談の重要性を示し、相談対応の向上を呼びかけた。	B				
20	4	精神保健福祉課	精神障害者家族等相談員相談事業	家族会の家族相談員による相談事業の実施	214件	165件	214件					126	126	126						当事者団体に対し補助金を交付し、家族会による家族相談の活動を支援します。	当事者団体に補助金を交付し、精神障害者家族等相談員相談事業を実施した。	B				
21	5	精神保健福祉課	精神保健福祉相談事業	精神科医師による定例相談の実施	各区にて毎月1回実施	年間32回実施 (相談件数 66件)	各区にて毎月1回実施	各区にて毎月1回実施				807	735	818						①「精神保健福祉のしおり」等により、事業周知するほか、電話相談時に窓口の案内を行います。 ②精神保健福祉に関することについて、受診勧奨及び家族問題の調整等を行い、当事者やその家族の医療相談窓口として機能(きのう)します。	予約者なしのため不開催日が4回あるが、目標値の約9割実施した。引き続き相談者へ周知をし、利用を促していく。	A				
22	6	保健予防課	難病患者地域支援対策事業	難病患者在宅療養支援計画策定・評価事業の開催回数	3回	3回	3回					242	179	242						評価委員会を実施し、訪問支援について専門分野の意見や課題等の提案を受け、個別の支援計画の策定、評価を行います。	予定通り実施できた。	A				
23	7	こころの健康センター 精神保健福祉課	新 依存症対策事業	①家族教室の実施回数 ②セミナーの実施回数 ③プログラムの実施回数 ④研修会の開催回数 ⑤依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関の整備箇所数	【コロナ禍の目標値】 ①教室(3回×2クール)、研修会(1回) ②9回 ③個別2回、集団5回 ④1回 ⑤2箇所	①家族教室(3回×2クール)、依存症問題研修会(1回) ②依存症問題研修会(1回)、スキルアップセミナー(7回) ③個別3回、集団5回 ④依存症問題研修会(1回) ⑤未設置	①家族教室(6回) ②依存症問題研修会(1回) ③集団回復プログラム24回 ④かかりつけ医依存症対応力研修会(1回) ⑤2箇所	①家族教室(6回) ②依存症問題研修会(1回) ③集団回復プログラム24回 ④かかりつけ医依存症対応力研修会(1回) ⑤2箇所				551	409	944						①家族のコミュニケーションスキルプログラム(クラフト)を中心とした内容で、依存症当事者を持つ家族が当事者に対しどのように対応したらよいかを学ぶ場を提供します。 ②自助グループである断酒会の定例会の見学(前半)と、講義とワークを中心とした勉強会、困難事例の多職種による相談会、断酒会の訪問支援事例の報告会(後半)とで構成するセミナーを開催します。 ③認知行動療法に基づく集団療法と個人面接を通して、 ④キャンブル依存症当事者の回復を図るプログラムを実施します。 ⑤講師を早期に確保し、チラシやホームページにより積極的に研修の周知を行います。また、講師との打合せを重ね、受講生が理解しやすい内容にします。 ⑥依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関を選定し、静岡県と連携して人材育成や普及啓発を行うとともに、関係機関との連携を推進します。	①コロナ禍にありオンラインを導入し、家族教室を予定どおり開催。依存症についての知識の普及、当事者へのかかり方を学ぶ機会の提供に加え、家族交流の場の提供を実施。 ②断酒会との協働にてスキルアップセミナーを7回実施し、依存症への対応力向上を図ることに加え、多職種連携の場を提供できた。 ③キャンブル依存症当事者の回復を図るプログラムにおいて、終了時における改善者の割合が100%であった。 ④関係機関への周知をチラシにて実施し、89名の参加者があり理解度89.0%、役立ち度91.8%であった。 ⑤県と協議の上、依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関を令和4年度までに2箇所選定予定。	A				
2- (2) 地域移行を推進するための支援																										
24	1	精神保健福祉課	退院後支援事業	①地域連携協議会の開催 ②退院後支援計画の作成	①1回開催 ②100%	①1回開催 ②100%	①1回開催 ②100%					774	206	624						医療機関等と連携し、措置入院者の退院後支援を行うとともに、精神障がい者を地域で支えるための体制整備について、警察・地域の関係機関等と継続的に協議を行います。	地域連携協議会(代表者会議)を1回、実務者会議を2回開催し、措置入院及び退院後支援事業に関する支援機関と連携強化を図った。	A				
25	2	精神保健福祉課	新 精神障がい者地域移行支援事業	①地域移行支援部会の開催 ②ピアサポーター養成研修の開催	【コロナ禍の目標値】 ①2回 ②オンラインでの交流会を実施1回	①2回開催(対面) ②6回開催(対面・オンラインの併用)	①2回 ②2回					416	200	416						地域移行の推進に係る課題や手法など官民共同で協議を行い、医療と福祉、行政が連携した地域移行体制の構築に取り組んでいきます。併せて、精神障がいのある人が地域で安心して生活できるようピアサポーターの養成に取り組めます。	計画通り部会を2回開催し、毎月1回ワーキンググループを行い協議している。 ピア交流会は、ハイブリット形式で開催している。	A				
26	3	保健予防課	難病患者等介護家族リフレッシュ事業	委託業者数	5事業所	5事業所	5事業所					2,818	1,708	2,675						利用者の希望するサービスが提供できるよう、現委託事業所数を維持するため、事業所への周知を行います。また、サービス提供事業所と年1回連絡会を開催します。	委託業者数5事業所を維持し、申請に対し100%サービスを提供した。コロナ禍で連絡会は中止し、代わりに事業所アンケートを実施した。	A				

施策分野2 生活支援 ～支え合う～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価				評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況		R3	R4	R5	総			
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額										
27	4	福祉総務課	新 再犯防止相談支援事業	実施	実施	実施	実施	実施					3,000	2,561	2,272					犯罪や非行をした人で福祉的な支援が必要な人に対する行政窓口等への付添い支援や、定期的に連絡をとる等の伴走型の支援を行います。また、犯罪や非行をした者等も利用可能な支援制度について、わかりやすく周知します。	検察等から来る情報の件数は想定より少なかったが、付添い支援・伴走型支援とともに希望者に適切な支援をすることができた。また相談窓口についての案内のハンドブックも予定どおり作成した。	A				
2-(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実																										
28	1	障害者支援推進課	ライフサポート事業	補助金交付事業所数	5事業所維持	3事業所	5事業所維持	5事業所維持					1,294	364	1,894					引き続き、事業所数を維持し、事業を継続します。	実績報告書に基づき、事業所に適切に支給を実施した。	B				
29	2	地域リハビリテーション推進センター	補装具の適切かつ継続的な使用に向けた支援	完成補装具の画像による確認の実施(確認件数)	290件	302件	290件	290件					5,456	3,337	5,139					補装具事業者や医療機関向けに周知を徹底するために、補装具支給ガイドの作成や配布を実施していきます。	補装具の適切かつ継続的な使用に向け、完成補装具画像確認システムを導入、運用を行っている。また、併せて補装具支給ガイドの作成・配布を行い、支給の適正化を図っている。	A				
30	3	収集業務課	ふれあい収集の実施	ふれあい収集の実施件数(障がいのある人以外の高齢者を含む)	1,100件	1,413件	1,100件	1,100件					—	—	—					出前講座や廃棄物減量等推進員勉強会などで、ふれあい収集制度の周知を行います。	出前講座や廃棄物減量等推進員勉強会などで、ふれあい収集制度の周知を行った。	A				
31	4	障害福祉企画課	新 ヘルプマーク・ヘルプカード普及啓発事業	①ヘルプマークの窓口配布件数(R3からの累計) ②ヘルプカードの窓口配布件数(R3からの累計) ③ヘルプマークを知っている人の割合(障がいのある人) ④ヘルプマークを知っている人の割合(障がいのない人)	①500件 ②400件 ③④R4に測定予定。	①1,045件 ②454件 ③④R4に測定予定	①1,000件 ②800件 ③50% ④50%	①1,500件 ②1,200件 ③④R7に測定予定					—	—	—					①各区役所障害者支援課窓口等で、ヘルプマーク・ヘルプカードの配布を行います。 ②ホームページ等を活用し、ヘルプマーク・ヘルプカードの周知を行います。	①各区役所障害者支援課窓口等において、希望者に対してヘルプマーク・ヘルプカードを配布した。 ②ホームページ等を活用し、ヘルプマーク・ヘルプカードの周知を行った。	A				
2-(4) 経済的な支援の充実																										
32	1	障害者支援推進課	各種手当の給付	実施	実施	実施	実施	実施					422,258	398,108	406,048					適切な各種手当の給付を行います。	対象者に対して適正な給付を実施した。	A				
33	2	障害者支援推進課	心身障害者扶養共済制度	実施	実施	実施	実施	実施					119,273	119,273	117,946					①加入の申請を受け付けます。 ②加入者から掛金を収納します。 ③年金受給権者へ年金の支払いを実施します。	受給者に滞りなく年金を支給した。掛金滞納者に電話催告等を実施し、未収債権を回収した。	A				
34	3	障害者支援推進課	補装具費助成事業	実施	実施	実施	実施	実施					85,750	79,695	85,368					適切な助成費の給付を行います。	完成した補装具の画像提出を継続実施し、滞りなく給付を実施した。	A				
35	4	障害者支援推進課	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	支給件数	12件	21件	12件	12件					1,000	787	900					制度の周知を行います。	目標を上回る支給を実施した。	A				
36	5	障害者支援推進課	重度障害者紙おむつ支給事業	実施	実施	実施	実施	実施					6,522	6,401	7,132					①助成対象者から交付申請があった場合に速やかに紙おむつ券を交付します。 ②利用者が使用した紙おむつ券に係る扶助費を滞りなく支払います。	助成対象者への対応と扶助費の支払いを滞りなく行った。	A				
2-(5) 人材の確保と資質向上																										
37	1	保健予防課	難病患者等ヘルパー養成事業	研修受講者の内容理解度(研修アンケートによる)	80%	88.0%	80%	80%					88	68	141					ヘルパー事業所、居宅介護支援事業所に対し、研修の周知を継続して行っていきます。	計画通り実施し、アンケート結果も目標を達成した。	A				
38	2	障害福祉企画課	移動支援事業従事者養成研修	養成研修の実施	2回	1回	2回	2回					807	522	807					①学生の参加を募るため、市内大学に対し、出前講座による周知について検討します。 ②より幅広いネットワークを駆使して講師の選任、受講生の確保を行うことができるよう、内容の変更を検討します。	①地域生活支援ネットワークまいむ・まいむの枠組みの中で市内大学に出向いて事業の周知を行った。 ②精神のヘルパー養成を合わせて行うために令和4年度に向けて精神の内容を踏まえたカリキュラムの見直しを行った。	B				
39	3	障害者支援推進課	介護職員初任者研修受講就労助成金	実施	実施	実施	実施	実施					0	0	0					居宅介護事業所等に対し、助成制度の周知を行います。	他課にて、「しずおか気分」の掲載、ハローワークへのチラシ配布等の周知を行った。指定事業所に対し、助成金の周知を行った。	A				
2-(6) 将来の生活を考えるための支援【新設】																										
15	再	福祉総務課	市民後見人養成研修事業	①市民後見人養成研修の実施又は市民後見人候補者(研修修了者)の延べ人数 ②家庭裁判所から市民後見人として選任された延べ人数	①市民後見人養成研修(実務編)の実施 ②3人	①実施済み ③3人	①市民後見人養成研修(基礎編)の実施 ②6人	①20人 ②8人					21,195の一部	21,010の一部	25,861の一部					・第2期市民後見人養成研修を実施します。 ・市民後見人候補者への活動支援を行います。 ・市民後見人候補者と被後見人のマッチングのための受任調整会議を実施します。	・第2期市民後見人養成研修を実施し、16名が修了した。来年度より第3期市民後見人養成研修を実施する。 ・市民後見人候補者に対し、フォローアップ研修を実施した。 ・モデル的に受任調整会議を行った。来年度より本格実施する。	A				





施策分野3 医療・保健 ～健康を保つ～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価			評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)					
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容		令和3年度末の取組状況	R3	R4	R5	総
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額							
3-(1) 障がいに対応した地域医療の提供																							
40	1	健康づくり推進課	障がい者歯科保健推進事業	①初診予約の年間平均待ち期間の短縮 ②かかりつけ歯科医保持率の維持 ③研修会参加者の増加	①30日以内 ②60%以上 ③延べ180人	①30日 ②70.1% ③延べ385人	①25日以内 ②60%以上 ③延べ190人	①25日以内 ②60% ③延べ200人			25,229	22,207	25,209			①地域でかかりつけ歯科医を持つ仕組みを整備します。 ②事業所訪問時にかかりつけ歯科医の必要性を周知します。 ③研修会開催にあたり、関係機関と連携し参加を依頼します。	①地域でかかりつけ歯科医を持つ仕組みを整備し、初診予約の年間平均待ち期間30日以内の目標を達成した。 ②事業所訪問時にかかりつけ歯科医の必要性を周知し、かかりつけ歯科医保持率60%以上を維持できた。 ③研修会開催にあたり、関係機関と連携し参加を依頼したことにより研修会参加者の増加につながった。	A					
41	2	健康づくり推進課	新 障がい者歯科保健推進会議の運営	障がい者歯科医療・保健についての協議の実施	2回以上	2回	2回以上	2回以上			320	280	320			障がい者歯科保健推進事業が円滑に実施されるための連携や情報共有を行います。	年2回の障がい者歯科保健推進会議の開催により障がい者歯科保健推進事業が円滑に実施されるための連携や情報共有を行うことができた。	A					
42	3	精神保健福祉課	精神科救急医療体制整備事業	24時間365日の救急医療体制確保	確保	確保	確保	確保			22,894	22,894	22,987			医療確保、情報センター、医療相談、身体合併対応の4事業を委託契約により実施し、市民に対する救急医療の提供を行います。	精神科救急医療体制を確保するために、各事業を委託契約により実施し、市民に対し救急医療の提供した。	A					
43	4	保健予防課	難病患者等医療相談事業	医療相談会の開催回数	【コロナ禍の目標値】 2回以上 (緊急事態宣言が今後発出されなければ3回)	3回 (内1回は講演会として実施)	3回	3回			117	104	218			①市内の患者団体に対し、静岡市難病相談支援センターを通じて、相談会の周知を行います。 ②申請窓口、訪問事業を通じて、相談会について周知します。	新型コロナウイルス感染症の発生状況により開催時期の延期はあったが、予定回数の相談会(講演会)の実施ができた。	A					
3-(2) リハビリテーション支援の推進																							
44	1	地域リハビリテーション推進センター	地域リハビリテーションの普及・啓発事業	①主催講座開催回数 ②アンケートによる講座(市民向け・専門職向け講座)理解度 ①主催講座開催回数 ②アンケートによる講座(市民向け・専門職向け講座)理解度	①主催講座 13回 ②理解度 90%	①主催講座11回 ②理解度 90%	①主催講座 13回 ②理解度 90%	①主催講座 13回 ②理解度 90%			1,146	812	1,150			常に、健康や介護に関する新しい情報を取り入れ、講座内容の充実に取り組みます。	主催講座(一般・専門職向け)により、地域リハビリテーション理念の普及啓発を行う。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施回数は目標値を下回ったが理解度は目標値を達成した。	A					
45	2	こころの健康センター	うつ病回復プログラム事業	参加者のうつ病評価尺度改善率	【コロナ禍の目標値】 85% (定員削減のため)	100%	90%	90%			2,291	1,483	1,893			①医療機関をはじめとする関係機関に対し、周知を行います。 ②認知行動療法についての周知啓発を行います。	市内の精神科病院、心療内科クリニックなどをはじめとして、計118ヶ所に事業の周知を行った。うつ病評価尺度からみた本プログラム参加者の改善率は100%であり、目標値を上回る数値を達成した。	S					
46	3	清水病院医事課	回復期リハビリテーション病棟の運営	実施	実施	実施	実施	実施			—	—	—			①対象疾患である患者及びご家族へ回復期リハビリ病棟の周知を行います。 ②患者様向けの説明資料を作成します。	①対象疾患の患者及びご家族へ当院の回復期リハビリ紹介を行い病床利用率が増加した。(R2:70.6%→R3:82.2%) ②患者様向けに当院の実績等を記載した説明資料を作成した。	A					
47	4	地域リハビリテーション推進センター	リハビリテーションに係る相談支援事業	障がい児・者に対する相談支援の継続実施	実施	656件	実施	実施			5,456	3,337	5,139			関連会議や連絡会を通じて、関係機関と更なる連携を図り、効果的な相談支援体制を推進していきます。	障がい児・者に対する直接的支援の一環として、専門職員(作業療法士、理学療法士、心理判定員)による相談業務を実施した。また、新型コロナウイルス感染対策を行いながら実施した。	A					
3-(3) 医療費助成の実施																							
48	1	障害者支援推進課 保健予防課	自立支援医療費の支給	確実な医療費助成の実施	実施	実施	実施	実施			更生医療: 818,225 精神通院: 1,051,851 育成医療: 3,500	更生医療: 741,314 精神通院: 977,615 育成医療: 879	更生医療: 801,673 精神通院: 966,130 育成医療: 2,566			①公費の適正な支払いを実施します。 ②自立支援医療の適否の審査のため、レセプト点検を実施します。	助成金支払事務を確実に執行し、滞りなく支払いを行った。	A					
49	2	障害者支援推進課 精神保健福祉課	重度心身障害者医療費助成事業	確実な医療費助成の実施	実施	実施	実施	実施			身体知的: 1,249,740 精神: 41,906	身体知的: 1,188,661 精神: 41,834	身体知的: 1,249,156 精神: 43,266			身体障害者手帳1、2級、内部3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級その他の対象者への受給者証を交付します。助成金支払事務を確実に執行し、受給者へ医療費助成金を支払います。	身体障害者手帳1、2級、内部3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級更新者その他の対象者への受給者証を送付。助成金支払事務を確実に執行し、滞りなく支払いを行った。	A					
50	3	精神保健福祉課	精神障害者入院医療助成制度	実施	実施	実施	実施	実施			35,267	33,836	34,314			精神保健福祉のしおりや市のホームページを通じて制度の周知を行います。	精神保健福祉のしおりや市のホームページを通じて制度の周知を行えたため。	A					
51	4	保健予防課	特定医療費の支給	申請に対する適正な事務処理の実施	実施	実施	実施	100%			914,444	846,794	908,924			対象者の申請に基づき、審査等の公費負担業務を適正に実施します。	申請に対する適正な事務処理を実施した。	A					

施策分野4 生活環境 ～暮らす・備える～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価			評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)								
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容		令和3年度末の取組状況	R3	R4	R5	総			
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額										
4-(1) 地域における住居の確保																										
52	1	住宅政策課	市営住宅への入居支援	実施	実施	実施 (入居件数 22件)	実施	実施	実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	市営住宅の指定管理者の窓口にパンフレット等を配架し、制度の周知を行います。	入居を希望する障がいのある人に対して、入居資格審査などの際に、次の取扱いを行った。 ・単身入居の受入れ ・収入要件の緩和 ・複数の入居応募があった場合における、公開抽選時の優遇措置	B				
53	2	住宅政策課	住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業	実施	実施	実施 (新規登録件数 310件)	実施	実施	実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①セーフティネット住宅情報提供システムにおいて、登録住宅の情報を公開し周知を行います。 ②住宅政策課窓口においてパンフレット等を配架し、制度の周知を行います。	新たな住宅セーフティネット制度において、住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅として登録を行った。	B				
54	3	障害者支援推進課	身体障害者住宅相談事業	相談件数	45件	57件	45件	45件	45件	1,695	1,694	1,695								各区の障害者支援課や委託先の社会福祉協議会と連携し、相談・周知を実施します。	委託先等と連携して住宅改修相談を実施した。	A				
55	4	障害者支援推進課	重度身体障害者住宅改修費補助事業	実施	4件	2件	4件	実施	実施	2,100	1,550	2,000								申請に係る適正な審査及び補助金交付、支払いを実施します。	申請に対して適正な審査と交付を行った。	A				
4-(2) 外出支援の充実																										
56	1	障害者支援推進課	重度心身障害者タクシー利用料金助成事業	実施	実施	実施	実施	実施	実施	25,523	20,926	24,000								請求に係る適正な審査及び助成金の支払いを実施します。	タクシー事業者からの請求に適正に対応した。	A				
57	2	精神保健福祉課	精神障害者交通費助成事業	実施	実施	実施	実施	実施	実施	9,766	8,379	10,236								「精神保健福祉のしおり」や市のホームページ等を通じて制度の周知を行います。	対象者に制度について、より分かりやすく伝わりやすくするために各区障害者支援課と協議をしながら制度案内の様式を修正した。	A				
58	3	福祉総務課	新 福祉有償運送の登録支援	実施	実施	実施	実施	実施	実施	0	0	0								福祉有償運送及び公共交通空白地有償運送運営協議会を定期的に開催します。	新規及び更新案件がなく協議会は開催しなかったが、事業所や市民からの問い合わせに対し申請手順や利用方法の説明を行う等、制度理解のための対応を行った。	A				
4-(3) まちのユニバーサルデザイン・バリアフリーの充実																										
59	1	福祉総務課	バリアフリーの情報発信	「U/Bぶら(ゆびぶら)」掲載施設数の増加	10施設増加	14施設増加	10施設増加	10施設増加	10施設増加	462	462	462								市民や民間事業者、ホームページ「U/Bぶら(ゆびぶら)」の周知を行います。	計画以上の施設数を追加することができた。	A				
60	2	交通政策課	障がい者に配慮した歩行空間の確保	歩道に放置された自転車の所有者への指導や撤去の実施	実施	実施	実施	実施	実施	68,720	64,432	67,985								計画的に、歩道に放置された自転車の所有者に対する指導と放置自転車の撤去を行います。	計画的に、歩道に放置された自転車の所有者に対する指導と放置自転車の撤去を行った。	B				
61	3	道路計画課 道路保全課	安全な歩道の整備	歩行空間(歩道・路肩カラー化等)の設置	実施	実施	実施	実施	実施	(道路計画課) — (道路保全課) 21,000	(道路計画課) — (道路保全課) 17,320	(道路計画課) — (道路保全課) 44,000								歩行空間(歩道・路肩カラー化等)の整備を実施します。	道路計画課：計画どおり、道路の新設・改良事業による歩道整備を進めることができた。 道路保全課：道路の改良事業における、歩道の整備を進めた。	A				
62	4	道路保全課	鉄道駅周辺のバリアフリー化の推進	R安倍川駅周辺、JR清水駅周辺、JR草薙駅周辺における主な生活関連経路のバリアフリー化率(整備延長÷計画延長10.77km×100)	88.0%	90.2%	100.0%	100.0%(R4目標値)	100.0%	40,000	7,020	48,585								バリアフリー基本構想に基づく「主な生活関連経路」のバリアフリー化整備を実施します。	バリアフリー基本構想に基づき、「主な生活関連経路」の視覚障がい者誘導用ブロックの設置や歩道整備を実施した。	A				
63	5	公園整備課	都市公園のバリアフリー化整備	都市公園のバリアフリー化率	71.61%	72.03%	72.31%	73.07%	73.07%	565,804	558,735	154,919								新規公園、既設公園にてバリアフリー化整備を進めています。	市内20公園のバリアフリー化を実施した。	S				
64	6	建築指導課	バリアフリー法における建築物の整備の促進	静岡県福祉のまちづくり条例に適合した施設の割合	45.00%	47.50%	45.0%	45.0%	45.0%	0	0	0								申請者や建築主から相談があった際に、静岡県福祉のまちづくり条例の趣旨を説明し、周知啓発を行いました。不適合の場合であっても、適合率を継続していきます。	申請者や建築主に静岡県福祉のまちづくり条例の趣旨を説明し、周知啓発を行いました。不適合の場合であっても、適合率を継続していき指導を行った。	A				
65	7	交通政策課	超低床ノンステップバスの導入拡大	導入率	76%	77.00%	77%	78%	78%	1,000	0	1,000								バス事業者と協議を実施し、超低床ノンステップバスの導入を促進します。	新たな導入はなかったものの、母数が減少したため導入率は向上した。補助金の利用実績はなし。	A				
66	8	建築総務課	ユニバーサルデザインの普及	①ユニバーサルデザイン推進会議の開催 ②ユニバーサルデザイン出前講座の実施	【コロナ禍の目標値】 ①1回 ※不測の事態の場合は書面開催を行う。 ②講座受講者:500人 ※グッズ賞出による教員にて実施するものを含む	講座受講者:2,433人	①1回 ②受講者数 500人	①1回 ②受講者数 500人	①1回 ②受講者数 500人	246	106	260								①毎年、庁内各課から1人ユニバーサルデザイン推進委員を選出し、ユニバーサルデザイン推進会議への出席を呼びかけます。 ②毎年、小学校へのチラシ配付及び社会福祉協議会との連携により出前講座の周知をはかります。	①推進会議に替わる研修を実施し、ユニバーサルデザイン推進委員に対し市職員としてのユニバーサルデザインの考え方について理解を深めたため。 ②出前講座を予定を上回る回数実施し、小学生を中心にユニバーサルデザインの普及啓発を行ったため。	S				
67	9	市街地整備課 清水駅周辺整備課	文字情報サインの設置	文字情報サインの更新	随時更新	随時更新 清水駅2件 草薙駅2件	随時更新	随時更新	随時更新	市街地: 1,500 清水駅: 423	市街地: 1,232 清水駅: 423	市街地: 1,400 清水駅: 474								案内する公共施設に変更はないか毎年確認し、変更があった場合、文字情報サインの内容を更新します。	静岡駅周辺について、計画に基づき、サインの更新を行った。 清水駅周辺及び、草薙駅周辺の文字情報サインの内容を4件更新した。	A				
68	10	管財課 駿河区地域総務課 清水区地域総務課	新 静岡庁舎、区役所のバリアフリー整備事業	必要な整備の実施	実施	実施	実施	実施	実施	—	—	—								庁舎の定期的な点検を実施し、点字ブロック等の状況を確認し、適切な整備を行います。	庁舎の定期的な点検を実施し、点字ブロック等の状況を確認し、適切な整備を実施した。	A				

施策分野5 安全・安心 ～備える～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成の為に計画期間中の取組		事業目標に対する評価			評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)								
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容		令和3年度末の取組状況	R3	R4	R5	総			
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額										
5-(1) 防・防犯意識の向上と備えの推進																										
69	1	危機管理総室	地域防災訓練の実施	地域防災訓練参加者数	【コロナ禍の目標値】 令和2年度実績 35,000人	55,351人	118,000人			118,000人			1,469	792	1,194					訓練計画の中に要配慮者対応を記載します。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、訓練を中止した自主防災組織が多かった。感染状況に注意しつつ、自主防災組織が積極的に訓練を企画できるように、早めに開催を周知する。	A				
70	2	危機管理総室	防災出前講座の開催	関係施設や団体に対する防災出前講座の実施数	【コロナ禍の目標値】 令和2年度実績 130回	160回	230回			230回			1,491	623	1,174					各自主防災組織に出前講座の周知を行います。	新型コロナウイルスの感染拡大により中止にしたり、受付を停止した期間があった。オンラインでの開催など、感染拡大時でも開催できる方法を検討していく。	A				
71	3	予防課	住宅用火災警報器取付支援事業	実施	実施	実施 5世帯 8個の設置	実施		実施				—	—	—					住宅用火災警報器の取付支援事業の広報を行います。	各消防署による戸別訪問による広報や、各種イベント等での広報活動を実施した。	A				
72	4	障害者支援推進課	重度身体障害者住宅安心システム	利用者数	9人	10人	9人		9人				660	419	560					利用者の通報が救命につながるよう引き続き適切な対応に努めるとともに、パンフレット設置などにより制度案内を行い、新規利用者への周知に努めます。	契約に基づき委託業務を依頼。適正な委託業務がされたため。	A				
73	5	建築指導課	木造住宅耐震事業	補助件数	100件	71件	100件		150件				91,150	75,636	106,500					①旧耐震の木造住宅所有者あてに、補助制度や説明会開催を周知するダイレクトメールを送付します。 ②耐震合同説明会を開催します。	①②とも計画どおり実施した。	B				
74	6	建築指導課	家具等固定推進事業	補助件数	15件	5件	15件		15件				180	58	180					耐震合同説明会を開催します。	計画どおり実施した。	C				
75	7	予防課	障がい福祉施設の消防訓練の指導及び実施	実施	実施	実施 3施設 431名参加	実施		実施				—	—	—					管轄消防署と障がい福祉施設が調整を行います。	新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を考慮しながら、管轄消防署と障がい福祉施設が調整をし、訓練を実施した。	A				
31	再	障害福祉企画課	ヘルプマーク・ヘルプカード普及啓発事業	①ヘルプマークの窓口配布件数(R3からの累計) ②ヘルプカードの窓口配布件数(R3からの累計) ③ヘルプマークを知っている人の割合(障がいのある人) ④ヘルプマークを知っている人の割合(障がいのない人)	①500件 ②400件 ③④R4に測定予定。	①1,045件 ②454件 ③④R4に測定予定	①500件 ②400件 ③50% ④50%		①1,500件 ②1,200件 ③55% ④55%				—	—	—					①各区役所障害者支援課窓口等で、ヘルプマーク・ヘルプカードの配布を行います。 ②ホームページ等を活用し、ヘルプマーク・ヘルプカードの周知を行います。	①各区役所障害者支援課窓口等において、希望者に対してヘルプマーク・ヘルプカードを配布した。 ②ホームページ等を活用し、ヘルプマーク・ヘルプカードの周知を行った。	A				
76	9	生活安心安全課	市民の防犯意識高揚のための啓発活動	特殊詐欺や自転車盗難などの被害防止啓発活動の実施回数	6回	6回	6回		6回				906千円の一部	855千円の一部	902千円の一部					警察、防犯協会と連携し、各種啓発活動を行います。	警察、防犯協会と連携し、年金支給日に金融機関で特殊詐欺被害防止の啓発活動を実施するとともに、大学とも連携し、学生に対する自転車盗防止のための啓発活動を実施した。	A				
77	10	生活安心安全課	青色防犯パトロール	実施	実施	実施	実施		実施				906千円の一部	0	902千円の一部					市職員による青色防犯パトロール活動を行います。	市職員による青色防犯パトロールを565回実施した。	A				
78	11	生活安心安全課	「ながら見守り」活動の実施	実施	実施	実施	実施		実施				906千円の一部	855千円の一部	902千円の一部					事業の周知を行います。	「ながら見守り」活動を行う防犯ボランティア「しずおか防犯パトロール」の参加者を募集し、市民等232人が新たに登録した。	A				
79	12	生活安心安全課	街頭防犯カメラ設置事業補助金	街頭防犯カメラを設置したことによる安心感	100%	100%	100%		100%				7,500千円	7,352千円	7,500千円					関係機関との調整を進め、計画的に補助金を交付していきます。	26台(26団体)の街頭防犯カメラ設置費用に対する補助を実施した。	A				
80	13	生活安心安全課	消費生活相談	実施	実施	実施	実施		実施				8198千円の一部	6649千円の一部	8708千円の一部					事業の周知を行います。	市公式twitterへの投稿を27回、ラジオ放送を24回実施した。	A				
81	14	生活安心安全課	消費生活に係る情報提供	実施	実施	実施	実施		実施				—	—	—					障害福祉サービス事業者等への情報提供を行います。	障害福祉サービス等事業者への注意喚起情報の提供を1回行った。	A				
82	15	障害福祉企画課	障害者災害時体制強化事業	実施	①個別避難計画の策定48件 ②指定避難所へのスロープの設置 54件 ③指定避難所へのわかりやすいサインの設置 268件 ④指定避難所へのアドバイザー派遣 3件 ⑤福祉避難所へのアドバイザー派遣 15件	①51件 ②64件 ③258件 ④1件 ⑤6件	災害対策基本法の改正を受け、事業の在り方について市内で検討中のため、その結果に基づき、令和3年度末までに設定する。	実施	①避難計画(個別計画)策定モデル事業の実施 ②指定避難所へのスロープの配置 ③福祉避難所へのアドバイザー派遣	①個別避難計画策定推進のため、モデル事業を実施し、51人分の計画を策定した。 ②指定避難所64箇所に移動可能なスロープを配備した。 ③福祉避難所で派遣を希望する施設6箇所にアドバイザーを派遣し、障がいのある人の受け入れ時に必要な配慮や懸念点のアドバイスをを行った。	B															
83	16	障害福祉企画課 障害者支援推進課	新型コロナウイルス感染症対策関連事業	実施	【コロナ禍の目標値】 ①新型コロナウイルス感染症ワクチン接種における合理的配慮の実施 ②障害福祉サービス事業所に対するロボット助成等の実施	①ワクチン接種時における合理的配慮の ②実施	①新型コロナウイルス感染症ワクチン接種における合理的配慮の実施 ②障害福祉サービス事業所に対するロボット助成等の実施	状況に応じて検討					47,551	36,514	28,400					必要性や導入効果の高い支援内容をしっかりと見極め、国や県が示す制度を活用しながら、感染拡大状況や社会情勢に合わせた支援を行います。	新型コロナウイルス感染症に係る事業について、実施することができた。	A				

施策分野5 安全・安心 ～備える～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)						目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価			評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)		
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況	R3		R4	R5
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額						
5-(2) 災害時等における支援体制の充実																						
84	1	危機管理総室	避難所における障がいのある人への配慮	既存の洋式トイレ(身障者用)で使用可能な携帯トイレの備蓄	10万回分	10万回分	15万回分		20万回分		1,300	1,260	1,300				携帯トイレを購入し、避難所へ分散備蓄します。	計画通り購入し、備蓄を行った。	A			
85	2	福祉総務課	避難行動要支援者避難支援推進事業	各地域への避難行動要支援者に係る名簿配布率	100%	100%	100%		100%		4,007	3,081	8,503				避難行動要支援者名簿の登録対象者のうち、平時から地区の自主防災組織や民生委員への情報提供に同意した方の名簿等を適切に作成し、地域に提供します。	名簿の作成及び配布について適切に実施した。	A			
86	3	福祉総務課	福祉避難所の確保	実施	実施	実施		実施			0	0	90				福祉避難所として指定した施設と防災訓練等を行い、被災時に円滑に福祉避難所が開設できるよう備えます。	指定福祉避難所と防災訓練を実施したほか、新たに4施設が福祉避難所として指定を受けた。	A			
87	4	障害福祉企画課	聴覚障がいのある人のための緊急情報発信事業	実施	実施	実施		実施			130	82	130				気象警報等が発表された際、ファックスにより漏れなく情報提供を行います。	気象警報等が発表された際、ファックスにより漏れなく情報提供を行った。	A			
88	5	指令課	聴覚障がい等、音声による通報が難しい人のための緊急通報受信事業(FAX119・NET119)	実施	実施	実施		実施			3,828	3,300	3,300				①利用者及び利用予定者への講習会等を実施します。 ②関係団体等との連携を行います。	コロナ禍であるため講習会等の実施は出来なかったが、その代替手段として普及促進用のポスターを関係部局に配付した。また、関係団体からのNET119に係る問い合わせに適切に対応することにより、関係団体と連携することができた。	A			

施策分野6 子ども ～育てる・学ぶ～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)						目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価			評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)		
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況	R3		R4	R5
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額						
6-(1) 障がいの早期発見・早期支援																						
89	1	子ども家庭課 障害福祉企画課	発達早期支援事業	あそびのひろばの設置箇所数 ばすてるひろばの設置箇所数	①6箇所 ②6箇所	①6箇所 ②6箇所	①6箇所 ②6箇所	①8箇所 ②8箇所			14,776	14,653	14,926			支援を行う専門職(事業者)を確保するとともに、発達が気になる子が必要な支援を受けられるよう、支援の必要性の見極めを確実に進めます。	あそびのひろば・ばすてるひろば共に、市内6箇所(各区2箇所)で事業を実施した。	A				
90	2	児童相談所	児童相談所の運営	①個々の児童や家庭に最も効果的な援助の実施 ②障がい児に対する虐待の防止と事故の未然防止	実施	実施	実施	実施			45,906	45,254	51,468			児童心理司等の専門相談員が、障がいのある児童の療育や施設入所等の相談に対応します。	児童福祉司、児童心理司等が、障がいのある児童の療育や入所等の相談に対応した。 R3相談対応件数 2,231件(うち虐待相談672件、障害相談884件、養護その他相談356件、左記以外319件) ※参考 R2相談対応件数 2,433件(うち虐待相談699件、障害相談1,024件、養護その他相談472件、左記以外238件)	A				
91	3	こども園課	障がい児保育事業	①巡回指導の実施回数 ②障害児入園面接及び審査会の開催回数 ③特別支援研修会の開催回数 ④障がいのある児童の受入数	【コロナ禍の目標値】 ①49回 ②4回 ③7回 ④360人	①61回 ②4回 ③7回 ④371人	①50回 ②4回 ③7回 ④360人	①50回 ②4回 ③8回 ④360人			1,456	1,382	1,644			①巡回指導者を選定し、依頼を行います。増員に伴う指導者の負担軽減を図ります。こども園の要望に応じて医療福祉センター医師の巡回日を調整します。 ②③④継続実施	①医師2名、大学教授2名、助教授1名の体制で実施した。 ②4回実施 ③7回実施 職員の資質向上のため	A				
92	4	幼保支援課	障がい児保育事業	①補助事業継続実施 ②障がいのある児童の受入数 ③保育者支援事業	①実施 ②160人 ③実施	①実施 ②251人 ③実施	①実施 ②160人 ③実施	①実施 ②160人 ③実施			265,694	250,956	242,078			①②受入に必要な職員を配置するための経費を補助します。 ③保育者が障がいを理解し、保育の仕方を工夫するよう専門相談員が支援します。	①私立園からの申請に基づき、障がい児保育に係る助成を行った。 ②障がいのある児童の受入数 251人 ・特別児童扶養手当支給対象児13人 ・上記以外で身体障害、知的障害、発達障害、情緒障害及び重度の慢性疾患を有する児童等 238人 ③発達及び保育の専門家による巡回支援 22園	A				
93	5	子ども家庭課	乳幼児健康審査	乳幼児健診の受診率 ①4か月児健診 ②10か月児健診 ③1歳6か月児健診 ④3歳児健診	①98% ②94% ③97% ④96%	①97.9% ②96.6% ③97.4% ④97.5%	①98% ②94% ③97% ④96%	①98% ②94% ③97% ④96%			88,929	88,142	90,233			対象者に対し、受診券等の健診案内を確実に進めます。	乳幼児健診の対象者に受診券等を送付し、個別または集団健診を実施することにより、ほぼ計画通りの受診率を達成することができた。	A				
94	6	学校教育課	幼児言語指導事業	子どもの発達や言語の遅れに改善がみられたと回答する保護者の割合	80%	98.0%	80%	80%			3,368	2,573	2,780			①指導員への研修を実施します。 ②市内6か所の教室間での指導についての情報の共有を行います。	①年3回研修を行い、巡回指導や放課後デイサービス等について学習した。 ②主任会を年5回開催し情報を共有した。	A				
95	7	子ども未来課	放課後児童クラブにおける職員加配	障がい児受入可能クラブ数	83クラブ	83クラブ	83クラブ	83クラブ(全クラブ)			#####	#####	#####			運営受託者と連携・協力し、必要な支援員の確保に努めます。	障がいの有無に関わらず入会申請の受付・審査を行った。また、運営受託者に対し加配支援員の雇用に必要な費用を委託料として支払い、必要な職員の配置を行っている。	A				
96	8	障害福祉企画課	レスパイト事業補助	補助金交付団体数	1団体	1団体	—	—			3,248	2,602	—			地域のニーズを踏まえ、類似サービスと比較しながら事業の方向性を検討していきます。	令和3年10月31日をもって、唯一の補助対象事業所の利用者全員が、重度心身障がい児対応の放課後等デイサービスへ移管され、R4年度は予算要求していない。	A				
97	9	障害福祉企画課	母子療育訓練センターの運営	利用者アンケートの満足度	90%	92.3%	90%	90%			38,028	38,028	38,028			利用者ひとりひとりに丁寧かつ確かな支援を行います。	10月から1歳児グループをぞうかさせ、歳児ごとの悩みに対し迅速に対応する体制を整えた。また、通所して間もない保護者を対象にペアレントトレーニングを実施し、子どもへの関わり方を再確認する機会を設けた。	A				
98	10	障害福祉企画課	児童発達支援センター「いこいの家」における親子教室の実施	年間開催日数	130日	99日	130日	130日			—	—	—			利用料金併用制のメリットを生かし、利用率の向上やサービスの向上のための取組について、指定管理者と協議しながら進めていきます。	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部期間で開催が出来なくなり目標の日数には届かなかったが、個別相談の対応の機会を多くとるなど、一人一人に丁寧な対応を取ることができた。	A				



施策分野7 雇用・就労 ～働く～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価				評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況		R3	R4	R5	総			
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額										
7-1) 就労につなげ、支える支援の充実																										
108	1	商業労政課	就職面接会の開催	面接件数	400件 ※就職面接会が開催出来ない場合、雇用管理セミナー1回開催	新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し中止	800件	800件					378 (No.110と合算)	—	378 (No.110と合算)					①市広報紙、ホームページによる周知を行います。 ②開催にあたり、共催者である静岡・清水公共職業安定所と連携し、面接会の運営を行います。	新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し中止した。	—				
109	2	障害福祉企画課	新「就フェス」開催事業	来場企業数	実施	未実施	実施	30社					80	0	80					少しでも企業が参加しやすくなるために、静岡・清水公共職業安定所と連携して障害者就職面接会とのコラボ開催を目指します。	コロナ禍の影響により、合同面接会および雇用管理セミナーは規模を縮小して開催するため、開催を延期。代替として、新たにQRコードをつけた就労移行支援事業所マップを企業や学校へ配布した。	C				
110	3	商業労政課	精神・発達障がい者しごとサポート養成講座	参加者アンケートにおいて、「今後に活かせる内容だった」と回答した割合	80%	98%	80%	80%					378 (No.108と合算)	144	378 (No.110と合算)					①市広報紙、ホームページによる周知を行います。 ②開催にあたり、共催者である静岡・清水公共職業安定所と連携し、講座の運営を行います。	①市広報紙、ホームページによる周知を行った。 ②共催者である静岡・清水公共職業安定所と連携し、講座の運営を行った。	A				
111	4	障害福祉企画課 等	障がいのある学生のインターンシップの受入	報告書の質問でインターンシップの経験が「とても良い経験だった」又は「良い経験だった」と回答した学生の割合	【コロナ禍の目標値】 — (全庁的な対応による)	未実施	100%	100%					—	—	—					特別支援学校等と情報交換を行い、受入の要望があった際には学生の希望との擦り合わせを行い、より充実した内容にします。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、人事課のインターンシップ実施形式をオンライン形式に変更。オンラインでは、実施が困難であるため、受入を見送ることとした。	C				
112	5	人事課 水道総務課 教育総務課	静岡市役所での障がい者雇用	法定雇用率の達成	市長部局 2.60% 上下水道局 2.60% 教育委員会 2.50%	市長部局 2.14%(119人) 上下水道局 2.62%(11人) 教育委員会 2.46%(77人)	市長部局 2.60% 上下水道局 2.60% 教育委員会 2.50%	市長部局 2.60% 上下水道局 2.60% 教育委員会 2.50%					—	—	—					①法定雇用率達成のために、障がい者の採用を積極的に実施します。 ②採用した障がい者の定着を支援するために、生活相談員と共に、障がいのある職員も働きやすい職場環境を整備するため各種取組を実施します。	市長部局、上下水道局： ・障がい者を対象とした会計年度任用職員採用選考を随時実施し、随時採用した。 R3年度 採用15人(会計年度) R4.4.1 採用者2人(会計年度) R4.5.1 採用者2人(会計年度)  ・障がい者を対象とした正規職員採用試験を実施し、採用した。 R3.4.1 採用者3人(正規) R4.4.1 採用者3人(正規)  ・人事課に、障がい者の就労支援等の実務経験のある者を障害者業務支援員として配置し、障がいのある職員及びその配属先の所属職員に対し、面談等を行いプッシュ型の支援を行った。  教育委員会： ・教育委員会事務局の会計年度任用職員(事務職員、学校事務員・用務員等)を増員した。 R3. 4.1 採用14人 ・清水中央図書館の清掃業務新規直営化に伴う会計年度任用職員(清掃員)を新たに(前倒し)採用した。 R3.12.1 採用者3人 ※内1人は中央図書館の欠員による採用	B				
113	6	人事委員会	静岡市職員採用試験制度における障がいのある人への配慮	職員採用選考における障がいのある人への配慮の継続実施	実施	実施	実施	実施					110	59	106					職員採用選考受験申込書において、点字・拡大印刷問題の希望の有無、車いす又は杖使用の有無、手話通訳又は筆談の必要の有無、パソコンによる受験希望の有無、補装具等の持込使用の有無等を確認し、実際に、説明・質問内容のパソコン表示や拡大印刷問題の希望に対応したほか、座席位置の配慮や椅子の種類の変更などを行った。 平成29年度から、身体障がい者に限らず、知的、精神障がい者に加え、職員採用選考を実施した。 H30 募集：若干名、申込：18人、受験：16人、合格：2人 R1 募集：3人程度、申込：36人、受験：28人、合格：5人 R2 募集：5人程度、申込：23人、受験：18人、合格：3人 R3 募集：3人程度、申込：21人、受験：17人、合格：3人	A					

施策分野7 雇用・就労 ～働く～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)						目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価			評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)			
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況	R3		R4	R5	総
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額							
7-② 障がいの状況に応じた就労の場の確保																							
114	1	農業政策課 農業委員会事務局 障害福祉企画課 精神保健福祉課	「農・福連携」の推進	①認定農業者への情報提供の回数 ②就労サービス系事業所への情報提供と意向調査の回数	①経済局 年1回 ②保健福祉長寿局 年1回	①1回 ②0回	①経済局 年1回 ②保健福祉長寿局 年1回		①経済局 年1回 ②保健福祉長寿局 年1回								認定農業者や就労サービス系事業所への連絡で農福連携の周知、意向調査を行い、両者に情報提供することで相互理解とマッチングを図り、実質的な連携を進めていきます。	①認定農業者へのアンケート調査の中で周知を行った。 ②就労継続支援A型・B型事業所へ農福連携に係るアンケートを作成。令和4年に実施予定。	B				
115	2	障害福祉企画課	静岡市ワークステーションの設置	受注(納品)業務数	200件	232件	200件		200件								各課に、ワークステーションの設置と業務募集について周知し、連携して業務の集約を進めます。また、障がいのある職員の障がい特性を理解し、それぞれの職員に合った業務の提供、スケジュール管理をすることで、安定的に業務を実施します。	知的障がいのある職員1名、精神障がいのある職員2名、業務支援員1名の体制で、庁内各課の軽作業等を請け負い、実施した。	A				
7-③ 福祉的就労における工賃向上の支援																							
116	1	障害福祉企画課	障がい者就労施設等からの優先調達促進	物品及び役務のそれぞれについての調達実績額(年度ごとの実績に応じて目標額を設定)	24,390,000円	20,356,913円	24,390,000円		30,360,000円								障がい者就労施設から調達できる物品等の情報収集を行い、その内容を全庁的に周知します。また、必要に応じて、優先調達が可能な障がい者就労施設の加入を進めていきます。	優先調達推進員を設置し、優先調達の発注の仕方や利用方法について研修を実施した。	B				
117	2	障害福祉企画課	福祉ショップ運営事業費補助	補助金交付申請受付、検査、交付	実施	実施	実施		実施			4,647	4,647	4,647			補助金交付団体との情報共有を図り、より効果的な運営手段を探ります。	福祉ショップを運営するオールオカベストコミュニティに売上の向上に努めようよう働きかけるとともに、補助を行った。	B				
118	3	障害福祉企画課	公共施設を活用した自主製品の販売支援	実施	実施	実施		実施				0					授産製品販売団体や管財課との連絡調整、情報共有をし、今後も販売の機会を確保するとともに、より効果的な販売手段を探っていきます。	コロナ禍の影響により出店を休止したこともあり、売上に影響があったため、庁内向けに季節のイベントギフトを販売し、販売機会を創出した。	B				
119	4	障害福祉企画課	新 工賃向上アドバイザー派遣事業の実施	アドバイザー派遣事業所数	2事業所	2事業所	2事業所		2事業所			216	184	384			関係機関と連携して就労継続支援事業所の要望に沿ったアドバイスを行えるアドバイザーを選任し、希望事業所を募るために積極的な周知を行います。	食品に係る商品開発のアドバイザー及びマーケティング、販路拡大等のアドバイザーを選任し、2事業所へ派遣した。派遣結果、新規商品が完成、静岡県ふじのくに福産品として認定、静岡県主催の販売会に出店した。	A				



施策分野8 文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～

No.	事業番号	担当課	事業名	事業目標(指標)	事業目標(値)				事業費(千円)				目標達成のための計画期間中の取組		事業目標に対する評価				評価理由 (R3～R5の3年間を総合した評価)							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		計画掲載内容	令和3年度末の取組状況		R3	R4	R5	総			
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額										
8-(1) 文化・スポーツ等を通じた社会参加の推進																										
120	1	まちは劇場推進課	市民参加型舞台公演事業	演劇ワークショップ(障がい者クラス)の開催	10回	12回	10回		R4年度の状況により検討			5,700	5,698	5,700						開催にあたり、業務委託先と連携し、ワークショップへの当事者への参加を依頼します。	ホームページやチラシ等を活用したPRにより、障がい者クラスには15名が参加。ゲネプロを含む計10回のワークショップと、成果発表の場として2回の公演を実施した。	S				
121	2	文化振興課	まちは劇場コンサート事業 学校訪問コンサート	①学校訪問コンサート特別支援学校訪問実施校数 ②市内障がい者支援施設等訪問コンサート実施数	【コロナ禍の目標値】 ①1校 ②1施設(協働パイロット事業において実施)	①1校 ②4施設	①1校 ②1施設		①1校 ②1施設			12,621	12,005	12,637						①校長会や教科会で積極的に周知し、コンサート内容に興味を持ってもらえる内容としていきます。 ②市内支援施設や病院等に積極的に周知し、誰もが楽しめるコンサート内容としていきます。	①生徒、教員、保護者を含め39名に参加していただき満足度の高い公演を実施することができた。 ②4施設180人の子どもたちがプロの芸術家たちとの身近なふれあいを楽しんだ。	S				
122	3	障害福祉企画課	全国障害者スポーツ大会への派遣	全国大会選手選考会(わかふじスポーツ大会)参加者数	【コロナ禍の目標値】 全国大会選手選考会(わかふじスポーツ大会)申込者数 350人	延べ321人	375人		400人			12,372	4,525	11,313						わかふじスポーツ大会への参加を広く周知し、全国障害者スポーツ大会に向けて静岡市選手団を編成・派遣を行います。	選考会への申込者数は目標数概ね達成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、選考会の一部競技及び全国大会の開催が中止となった。	C				
123	4	スポーツ振興課	障がい者スポーツへの理解促進と情報提供の実施	①市ホームページへの情報掲載件数 ②障がいのある人と障がいのない人の交流イベントの実施回数	【コロナ禍の目標値】 ①1件 ②1回 ③障がい者スポーツ体験の満足度80%	①0件 ②0回 ③-	①2件 ②2回		①2件 ②2回			-	-	-						①障がいのある人のスポーツ活動について、スポーツ振興課ホームページに掲載します。 ②総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進員と連携し、障がいのある人と障がいのない人との交流イベントを実施します。	新型コロナウイルスの影響のため、事業を実施できなかった。	-				
124	5	スポーツ振興課	市営スポーツ施設の使用料の減免	実施	実施	実施			実施			-	-	-						市営スポーツ施設の使用料の減免を行います。	市営スポーツ施設の使用料の減免を行った。	A				
8-(2) 生涯を通じた多様な学習・文化活動の機会の提供																										
125	1	生涯学習推進課	生涯学習施設における障がいのある人を対象とした講座の実施	講座実施施設数	3施設以上で実施	3施設で実施	3施設以上で実施		3施設以上で実施			指定管理料の一部	指定管理料の一部	指定管理料の一部						指定管理者と連携し、生涯学習施設で障がいのある人を対象とした講座を実施していきます。	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、3施設で障がいのある人を対象とした講座を実施することができた。	A				
126	2	健康づくり推進課	健康づくりに関する講座の開催	①健康教育教室の参加者数 ②健康まつり地区まつりの参加者数 ③健康相談の利用者数	【コロナ禍の目標値】 ①850人 ②1000人 ③850人	①947人 ②402人 ③438人	①3,500人 ②9,000人 ③1,600人		①3,500人 ②9,000人 ③1,600人			4,516	2,448	4,213						生活習慣病予防についての出前講座等を壮年期層へ周知し、行動変容につながる健康教育を実施していきます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を一部変更し実施したことから、参加者数は減少した。今後も感染予防に留意しながら事業を継続していく。	B				
127	3	障害福祉企画課	身体障害者福祉センター「静岡市清水みなとふれあいセンター」の運営	利用者アンケートの満足度	90%	88.4%	90%		90%			39,188	39,188	39,188						障害者団体が主催する事業にも積極的に協力するなど、いろいろな事業を展開することで、利用者の満足度を高めていきます。	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となったが、書道、陶芸教室、卓球、ポッチャ等の定期教室や演芸等の単発教室を開催し、身体障害者の機能訓練や教養の向上、社会との交流促進及びレクリエーション活動機会の提供を行った。	A				
128	4	中央図書館	市立図書館における福祉サービスの実施	実施	実施	実施			実施			-	-	-						①福祉資料(点字図書・音訳図書)の貸出しを行います。 ②独居の肢体不自由者に宅配による貸出しを行います。 ③視覚障がい者を対象とした音訳ボランティアによる 対面朗読サービスの周知を行います。 ④大活字本、LLブックを各館で貸出ししている。 ⑤中央・西奈・長田・北部に拡大読書器を設置している。 ⑥拡大読書器(中央、西奈、長田、北部)を設置します。	①音訳図書貸出:2,627点、カセット貸出:224点 ②宅配:71点 ③対面朗読サービス:89回 ④大活字本、LLブックを各館で貸出ししている。 ⑤中央・西奈・長田・北部に拡大読書器を設置している。	A				
8-(3) 行政におけるサービスの利用のしやすさの向上																										
129	1	広報課	ウェブアクセシビリティに配慮した市公式ホームページの提供	ウェブアクセシビリティに準じたホームページの運営	実施	実施	実施		実施			8,593	8,593	8,593						順次整備を行い、できる限り読みやすく使いやすいホームページを目指し、アクセシビリティに配慮するよう努めます。	ウェブアクセシビリティについての研修も実施し、順次整備を行った。読みやすく使いやすいホームページのためにウェブアクセシビリティに配慮するよう努めた。	A				
130	2	中央図書館	視覚障がいのある人への音訳資料の提供の推進	①音訳ボランティア研修会実施回数 ②講演会実施回数 ③講座実施回数	①5回 ②2回 ③1回	①3回 ②2回 ③1回	①5回 ②2回 ③1回		①5回 ②2回 ③1回			168,000	168,000	208,000						音訳ボランティアひびきの会と連携し、研修会等の運営を行います。	コロナウイルスの影響により研修会は2回減ったが、研修等を通じて養成した音訳ボランティアを活用し、昨年度より多くの音訳資料を制作した(令和3年度録音図書制作数:78点)。	A				
131	3	選挙管理委員会事務局	公職選挙における障がいのある人への配慮	投票所の形態に合わせた配慮の実施	実施	実施	実施		実施			28,384の一部	312	196						①点字による候補者名簿等を投票所に配置します。 ②音声版選挙公報の作成及び配付並びに点字版選挙公報の配付を行います。 ③原則1階に投票所を開設します。 ④投票のための点字器を配置します。 ⑤低床の記載台を配置します。 ⑥段差解消のための仮設スロープを設置します。	投票所の形態に合わせた配慮が実施できた。	A				

